

第 61 回全国高等学校軟式野球選手権岡山大会Dブロック代表決定戦

2016 年 7 月 20 日 矢掛高校 V S 津山工業高校 @勝山球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
津山工業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

矢 三澤魁太 - 林

矢掛高校の命運を託された先発は、一回戦に続き、2年生右腕の三澤魁太（真備中）。

- 1 回表、矢掛高校の攻撃。相手の投手の好投により三者凡退となる。
- 1 回裏、津山工業高校の攻撃。三澤魁太は上々の立ち上がりを見せ、三者凡退に抑える。
- 2 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の三澤大地（真備東中）が右前打を放ち出塁し、捕逸で二塁へ進む。続く多賀圭吾（矢掛中）の右飛で、走者が進み一死三塁とチャンスを作る。二死となり、福尾（井原中）の打席で、三塁走者の三澤大地が本盗を決め、1 点を先制する。さらに、福尾（井原中）が中前打を放ち出塁するも、ここで後続が途切れスリーアウト。矢掛高校は待望の先制点を挙げる。
- 2 回裏、津山工業高校の攻撃。一死から左前打を放たれ出塁を許すも、相手の後続が続かず無失点に抑える。
- 3 回裏、津山工業高校の攻撃。一死から左前打を放たれ出塁を許し、犠打で二死二塁とされる。ここで、続く打者の中前打により、二塁走者が一気にホームへ生還し、1 点を奪われる。次打者は飛球に抑え、勝ち越し点は奪われない。矢掛高校は、この回同点に追いつかれ、試合は振り出しとなる。
- 4 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の山木（美星中）が失策により出塁し、盗塁を決める。一死から、多賀圭吾は四球で出塁するも後続が続かない。
- 5 回裏、津山工業高校の攻撃。一死から先頭を四球により出塁させるが、盗塁を刺し一死。しかし、次打者に左越二塁打を放たれ、勝ち越しのピンチとなるが、次打者を飛球に抑え、この回を乗り切る。
- 6 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の竹井（美星中）が四球で出塁し、盗塁を決める。続く山木の犠打が悪送球となり、二塁走者が本塁生還。さらに、続くチャンスで三澤大地が大きな打球を放つも、フェンス前で失速し、一死。続く多賀圭吾の犠打で、二死三塁とするが、後続から一本が出ず追加点ならず。矢掛高校は 1 点の勝ち越しに成功する。
- 6 回裏、津山工業の攻撃。一死から四球で出塁を許すも、続く二打者を飛球に抑え、この回無失点。
- 7 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の福尾は右前打を放ち出塁する。続く三澤魁太の犠打により一死二塁となる。次打者を三振に抑えられ二死となるも、主将の林（真備東中）の二塁打により 1 点を追加し、東中国大会出場を近づける。
- 8 回表、矢掛高校の攻撃。二死から多賀圭吾が左前打を放ち、一気に二塁を狙うも、左翼手の好返球でアウトとなりスリーアウト。
- 8 回裏、津山工業高校の攻撃。一死から死球を与えるが、走者を牽制でアウトとし、無失点。
- 9 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の山室（美星中）が四球で出塁。ここで代走：赤木（小北中）を送る。代打：温井（井原中）は三振に抑えられ一死。さらに、三澤魁太の犠打で二死二塁。この場面で、赤木は捕手の牽制悪送球により三塁へ。だが後続が続かず、無得点に終わる。
- 9 回裏、津山工業高校の攻撃。一死から痛烈なライナーを放たれるも、遊撃手：片岡（矢掛中）がしっかり掴み二死。最後は守備固めでこの回から二塁の守備についた渡邊（矢掛中）が後方の飛球を抑え、試合終了。

矢掛高校は津山工業高校に3-0で勝利した。矢掛高校この勝利により、二年ぶり七回目の東中国大会出場を決めた。序盤は点を取り合う場面があったが、中盤の効果的な得点で勝ちきることができた。今日の試合での課題は今後の残り少ない練習で修正し、東中国大会に臨みたい。東中国大会では、県外のチームと対戦することになるので、岡山県代表として気を引き締め直して頑張りたいと思う。

今日も暑い中応援に来てくださった、保護者やOBのみなさん、温かいご声援ありがとうございました。いつも差し入れなどを頂き、とても感謝しています。私たちは長い夏にできるよう、さらに上を目指して日々頑張っていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

(文責:馬越 夢亜)

矢掛高校は、昭和62年(1987)、平成8年(1996)、平成17年(2005)、平成19年(2007)、平成20年(2008)平成26年(2014)に続いて、二年ぶり七回目の出場となった。

新チームの戦績 20 勝 16 敗 5 分